

祝 おかげさまで1000号!











〜紅まどんな〜①



▲季節を選ばず紅まどんなを楽しめる商品群。マドレーヌ、ダクワーズ、紅まどんなストレート 果汁100%ジュース、ゼリー、ぼうろもある

株式会社 リップコーポレイション

住 T Ε L 設 立 表者

キは、

食べる人を幸せな気持ち

から生まれたネーミングのケー

葉は

「花嫁のよろこび」。

そこ 花言

花を携えてプロポーズし、

欧米では、純白のみかんの

にさせてくれます。

▶「まどんなのよろこび」はプレーン味以外に、濃厚なチョコレート生地もおすすめ

今治市大西町九王甲1520 0898-53-6166 2013年 (平成25年) 代表取締役社長 小田 雅人

▲商品開発を担当するマーケティングリ の日野さん(左)と風音店長の面屋さん

切不使用。 国産小麦を使用し、 さわやかで上質な甘さが特徴で やせばチーズケーキのような っとりした食感が楽しめる、 常温でふんわり、 添加物は

「紅まどんな」は JA全農の登録商標です!

愛媛生まれのオリジナル品種・紅まどんなは、 ゼリーのようになめらかな果肉、たっぷり果汁、 大玉で紅の濃い美しい外観から、年末の贈答用 に需要が高まっています。

食感、 どんなでいこう!」と商品開発は始まりました。 は数知れません。 至るなど、苦労の数々を笑顔に変える、その誕生秘話 てテスト販売を快諾され、売れ行き好評で常設販売に スできる工場を探して東奔西走し、 やわらかく薄い果皮の紅まどんなが崩れず薄くスライ ては四季折々の農作業や生育状況を丹念に観察。 えひめ中央で生産者を紹介してもらい、農地に出向 と駆け込んだ県果樹試験場で丁寧な説明を受け、香り 年前、 ネーミング、全てにおいて申し分なく、 社。 試作品第1号を松山空港へ飛び込み営業し 「愛媛にこだわったスイーツを作りたい」 やっと見つけた大 実が

り、食べてなお紅まどんなの風味が広がっていきます。 のみをぜいたくに使用しています。 なを練り込んでいます。封を開ければ紅まどんなの香 て上部に並べ、生地は皮ごとピューレにした紅まどん 「まどんなのよろこび」 は、 高級柑橘・ 皮ごとスライスし 紅まどんな

JA全農えひめ情報



2018年12月号

CONTENTS

全農グループの経営理念

私たち全農グループは、 生産者と消費者を安心で結ぶ 懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- ○営農と生活を支援し、元気な産地 づくりに取り組みます。
- ○安全で新鮮な国産農畜産物を消費者 にお届けします。
- ○地球の環境保全に積極的に取り組み ます。

今月の表紙



とれとれ冬野菜&フルーツのクリスマス・リースから家族の笑顔がこんにちは。サンタクロース姿のおじいちゃん、自家製の漬物ならおまかせ!のおばあちゃん、今日も一日ご苦労様!農作業姿のおとうさんとおかあさん、おいしい食卓にご機嫌の子どもたち。この幸せがずっと続きますように。「あぐり~ど」も1000号、明日へ、未来へと繋がっていきます。

●表紙:クリスマス はら ふみ(イラストレーター)

※『あぐり~ど』は、「愛媛農業(Agriculture)」を「リード(Lead) する」という意味と「心を一つにする(Agreed)」という意味 を込めています。 農の風景Vol.207

美味絶賛~紅まどんな~① 株式会社グリップコーポレイション

2 〈特集〉

祝 おかげさまで1000号!

JA全農えひめ情報 「あぐり~ど」の歩み

⑤ THE・ねっとわーく

ふるさと ESSAY VOL.275落語と笑いとの出会い枝廣 篤昌さん

8 TOPIC NEWS

15 統計BOX

16 READERS通信 NOW NOW COOKING 〈今月の素材〉白菜

JA全農えひめ

ホームページ http://www.eh.zennoh.or.jp



- ■JA全農えひめ「えひめの食」企画 http://www.eh.zennoh.or.jp/ehimenosyoku/ ※「えひめの食」では、旬の農産物情報を発信しています。
- ◆㈱えひめ飲料 http://www.ehime-inryo.co.jp
- ◆JAえひめアイパックス㈱ http://www.iyokkora.jp/
- ◆JAえひめフレッシュフーズ㈱ http://fresh-ranran.jp/
- ◆㈱ひめライス http://www.himerice.jp/
- ◆JAえひめエネルギー㈱ http://www.ja-ehimeene.co.jp
- ◆JAえひめ物流㈱ http://www.jat-ehime.co.jp/



▲創刊当時の「愛媛経済連通信」

「愛媛経済連通信」の誕生 (昭和34年9月15日)

本格的な広報活動の展開を図るため、毎月5日・20日のタブロイド判4頁建を基本に発行がスタートしました。

おかげさまで1000号!

J A 全農えひめ情報 「あぐり~ど」の歩み

昭和34年9月15日創刊「愛媛経済連通信」として創刊した「JA全農えひめ情報『あぐり~ど』」。昭和36年3月5日から昭和37年12月20日まで休刊しますが、機構改革とともに形態を変えながら現在にいたるまで、愛媛の農業の今と本会事業の取り組みを紹介してきました。

第200号

「愛媛経済連通信」

(昭和44年10月5日)

「10年後の愛媛農業」と題した特集を掲載。この時、「現在、県内の農業就業者は、30代~50代で均衡のとれた構成になっているが、10年後には40代以上が大半を占めるようになる」と予測しています。ちなみに現在の県内、農業就業人口の平均年齢は67.8歳です。

(農林水産省「農業センサス」 H27より)



「愛媛農協通信」

(昭和42年4月5日~昭和43年3月5日)

共通役員体制にもとづき、中央会、 県信連、共済連、経済連の広報誌を一体

化し、共同編集 室を設置して月 3回発行してい ました。

共通役員体 制の解体に昭和 43年4月以降、 「愛媛経済連通信」に復刊し ました。



第185号「愛媛経済連通信」

(昭和44年1月新年号)



初のカラー 表紙! 酉年という ことで「ヒナ の誕生」

第100号

「愛媛経済連通信」

(昭和40年9月20日)

伊予農業高校の学生100 人の笑顔が並ぶ写真ととも に、19歳の農業後継者の農 業に対する熱い想いを語る 文章が掲載されています。 また、100号を記念して、新 聞社やJAからも多数メッ セージが寄せられており、 県内農業を伝える情報ツー ルとして既に確立されてい たことがうかがえます。



第641号

「えひめ経済連通信」(昭和63年4月号)

29年間続いたタブロイド判から本文20ページの雑誌タイプに。表紙には、生産者やJA職員の写真を掲載していました。裏表紙には手書きの行事予定表も。







第500号 「愛媛経済連通信」

(昭和57年6月5日)

「愛媛の物流シリーズ」では、10回の連載にあたり、経済連物流専属車(野菜低温車)に、なんと!毎回編集担当者が同乗し、取材。県外に出荷されていく新鮮な愛媛野菜を選ぶための様々な取り組みを紹介しています。

第400号

「愛媛経済連通信」

(昭和53年4月5日)





第300号

「愛媛経済連通信」 (昭和49年2月5日)

「いま一度、農協広報について考えは、発について考えは、集協広報誌の発には、発行状況が詳しく書かれています。組合員を関した特集にの発行でいます。組合員を対していまっている。 を超した特集にの発行でいます。組合員を対していまった。 はいまったのでは、はいまったのか語られていまった。 要なす。

第761号

県農えひめ情報「あぐり~ど」 (平成10年4月号)

現在も連載が続く「統計ボックス」がスタート。記事では、「米の需給バランス」について語られています。日本人の「米離れ」が進んでいる中、消費者ニーズにあった米作りと日本人らしい食事の推進が重要と呼びかけています。

県農えひめの誕生







営農情報 「あぐり〜ど」 昭和44年創刊 346号発行



くらしの情報 「ぽけっと」 昭和59年創刊 129号発行



第722号

愛媛経済連情報「あぐり~ど」

(平成7年1月号)

「経済連情報」、「営農情報『あぐり~ど』」、「くらしの情報誌『ぽけっと』」の三誌が合併。「愛媛農業 (Agriculture)をリード (Lead) する」という意味と「心を一つにする (Agreed)」という意味で、長年親しまれてきた誌名を採用しました。今も連載が続く「ふるさとエッセー」も誕生。

第832号

JA全農えひめ情報 「あぐり~ど」

(平成16年4月号)

「あぐり~ど」が遂に今の姿になりました。

特別企画では「もっと近くに」のメインメッセージのもと、組合員・JAのより身近な存在であり続けたいという想いとこれからのJA全農えひめの事業方針や運営体制について詳しく書かれています。



TAILOT E GALLANDE STATE OF THE STATE OF THE

第900号

JA全農えひめ情報 「あぐり~ど」

(平成21年12月号)

ちょうど 9 年前の「あ ぐり~ど」です。

「JAふるさと自慢」と題して県内JAの特産物、地域の歴史や観光地などを見開きカラーページで紹介するコーナーを連載していました。

ホームページの開設

情報化時代に対応し、平成 13年8月1日よりホームペー ジを開設しました。



現在のJA全農えひめホームページ



「あぐり〜ど」は WEBでも読めます

「あぐり~ど」はこれからも、「心を一つにする(Agreed)」 広報誌であり続けます。



昭和34年に創刊した本誌は、59年もの間、JA全農えひめの事業と愛媛農業の様子を伝え続けてきました。現在、スマートフォンやパソコンを利用し、インターネットで手軽に情報を入手することができる時代です。しかし、紙媒体の広報誌は、インターネット環境のない読者にも情報をお届けできるほか、「記録」だけではなく、<math>1ページ1ページにメッセージを込め読者に伝えることができます。<math>JA全農えひめ情報「あぐり~ど」はこれからも、新たな取り組みや県内の農業情勢など、誌面を通して情報発信をしていきたいと思います。

取材は、編集担当者が現場へ出向くように心がけています。「JA 全農えひめ広報」という名札を見かけたらぜひ声をかけてください。 リーダーズ通信では、ご意見・ご感想などお待ちしております。読 者ハガキを通じてぜひみなさんの声をお寄せください。



課は、今年も愛媛みか JA全農えひめ果実

キャンペー ン」を実施しました。 愛媛みかん消費宣伝

首都圏と関西地区で、 んの本格出荷にあわせ、

果実課



▲▼東京・大田市場で初荷セレモニ -を開催

▲神野副知事(中央)を訪問



キャンペーンのスタートにあたり、本格販売と愛媛みかん消費宣伝の日には、早生みかんの 問しました。 愛媛県庁に神野一仁副知事を表敬訪 全農えひめの小越愼介県本部長が、 2018愛媛みかん大使4人とJA 販売と愛媛みかん消費宣伝月30日には、早生みかんの

人でも多くの方に食べていただけ 愛媛みかん大使は「愛媛みかんを

> らは、「柑橘王国愛媛の誇りと自信 まいります」と伝え、みかんのカゴ が愛媛県を代表して精一杯PRしてるように、私達愛媛みかん大使4人 ださい」と激励の言葉がありました。 を持って、全国にPRしていってく 盛りを贈呈。 試食した神野副知事か

キャンペーン 愛媛みかん消費宣伝

首都圏と関西地区で、 活動を展開しました。 ーンは、11月5日~11月8日まで、 今年の愛媛みかん消費宣伝キャン キャンペーン

5日には、愛媛県愛のくにえひめ営県内産早生みかんが出揃った11月 初荷セレモニーを行い、早生みかん Aとともに東京・大田市場競売場で 業本部八十島本部長と県内主産地J 県内産早生みかんが出揃

> をアピールしました。 の出荷スタートと愛媛みかんの品質 キャンペーン期間中は、 マスコミ

PRしました。 などを精力的に行い、愛媛みかんを 訪問活動や店頭販促活動、 市場訪問

「オレンジロード」 について

デー」まで、「オレンジロード」と 日の愛を深める記念日「オレンジ日「みかんの日」から来年の4月14 ら旬を迎える愛媛県産柑橘の消費拡 り合うことで、愛を育み深めていく るオレンジ=季節の旬の柑橘を「オ ロード」は、「愛のシンボル」であ して取り組んでいます。「オレンジ て取り組みます。 と一体となり、温州みかんやこれか ″道のり″です。今年も、 大と「オレンジデー」 レンジデー」までの記念日ごとに贈 「みかんの日」から来年の4月14 JA全農えひめは、 の定着に向け 今年も11月3 県内JA



▲量販店での販促活動を通じて愛媛みかんをしっかり PR

た。

月前まで、

落語漬けの日々を送りまし

語研究会に入部。大学を卒業する数か なりました。もちろん愛媛大学では落

席覚え、 たため、 ました。 丘 渡された落語のテープが三遊亭圓生師 問の先生から「聴いてみなさい」と、 年の時に入会した『演芸クラブ』の顧 لح 落語の世界に魅了されました。 この時の衝撃はいまでも忘れません。 たこともあり、 いう演目は私のライフワークになり の「死神」と「小言幸兵衛」でした。 きの少年になっていました。 学校祭などで披露するように 高校には落語研究会が無か 剣道部に入りながら落語を数 私もいつの間にか落語 中学3 「死神

た。

離を置いていました。 なった後は、さすがに落語と少し距 忙しかったという事もあったので か Ļ 医学部を卒業し、 覚えることも多 精神科医

> るのは、 神科領域に関する講演を行っていま なかったので、背広にネクタイ姿で精 でした。 ばらく着物に袖を通す事はありませ 〜も〜!」といった感じで高座に上が たたないうちに、派手な着物をきて な面接を行っていた医師が、 す が、 つい先ほどまで患者さんと深 元々人前で話す事は嫌 どこか不謹慎な気がして、 数時間、 いでは

科医になって、 でした。 演に来てもらいたい、 で精神障害者の家族教室を開くので講 そんな私に転機が訪 10年目の秋の事。 との一本の電話 れたの は、 合同

きなものですから、 いただけませんか」 たと聞きましたので、 「どんな、 先生が、 しばらく演っていませんが、 話をしたらよいですか?」 大学時代に落語をされてい 何席かおさら 落語を聴かせて 元 /々好

親がテレビ

の落語番組

が

好

きだ

■プロフィール■ 精神科医 (四国中央市・豊岡台病院 院長)。日本笑い学会四国支部・ 代表。社会人落語家「芸乃 虎や志 (ゲイノ コヤシ)」の高座名をもつ。 1962年9月22日生まれ、広島県呉市出身。愛媛大学医学部卒業。 大学の落語研究会OB、第2回社会人落語日本一決定戦、優勝。精 神保健福祉の啓蒙の一環として毎年「うま! 心の健康寄席」を開催、 新居浜を中心にプロ(古今亭菊志ん、桂吉弥 ほか)やアマ落語家 の出演する落語会を企画、演題「笑いのチカラ」の講演、新居浜市 の「全国高校生笑い日本一決定戦 "笑顔甲子園"」発案等、「笑い」 をベースにした地域づくりを実践し、普及活動につとめる。2015 年、笑いの体操とヨガの呼吸法をミックスした健康法「笑いヨガ」 の認定ティーチャーの資格を修得、笑いクラブ等の身近に笑える 場造りにも精力的に取り組んでいる。

【講演日程】

- ●12月4日 財18:00~20:00「日本笑い学会四国支部 第65 回研究会 〜熊本地震後、笑いのチカラはどう役立ったのか〜」 西予市教育保健センター 2 階集団指導室にて。500円(豪雨被
- 西予市教育保健センター 2階集団指導室にて。500円(豪雨被害市町村の住民は無料)
 12月5日(約13:30~16:00「第12回新居浜笑いサミット」新居浜市市民文化センター大ホールにて。無料(要・整理券。受付で「本誌を読んだ」の申し出で入場可)
 1月3日(約11:00~12:00「第13回吉祥寺初笑い! 新春高月四条市 四国霊場第63番札所吉祥寺にて。無料。
 2月6日(約19:00~(開場18:30)「第4回あかがね新春寄席~三遊亭兼好独演会~」新居浜市あかがねミュージアム・多目的ホールにて。前売り2,500円、当日3,000円。

ATUMASA **EDAHIRO**



▲「芸乃 虎や志」さんとして落語を演じる枝廣篤昌さん

「ありがとうございます」て、演らせていただきます」

のです。

先生にお願いしております」「あぁ、それでしたら、ちゃんとしたていいですか?」

「ところで、精神科の薬の話はしなく

•

※最後のやり取りの所は、少し盛っています (笑)

だき、「この会は普段は病気の勉強なで行われた合同家族教室に呼んでいた平成10年12月。当時の愛媛県中山町

から笑った事なんて、久しぶりです」と非落語で笑わせていただきたい」と見非落語で笑わせていただきたい」と何が必要か」といった話もさせていただいた)。そして、久しぶりの落語。家族の皆さんに笑っていただけてホッとしました。すると帰り際に家族の一人が声をかけて下さいました。この子が病気になってから、こんなに腹の子が病気になってから、こんなに腹がら笑った事なんて、久しぶりですが、今日はど、重い話ばかりなのですが、今日はど、重い話ばかりなのですが、今日はど、重い話ばかりなのですが、今日はど、重い話ばかりなのですが、今日は

これからも笑うようにします」明日からも頑張れそうになりました。「でも、不思議ですね。腹から笑うと、

たものじゃないな、と思った瞬間でしものなのか。″笑い』もまんざら捨て

笑うことで前向きの力が湧いてくる

"笑い』で人が集まってくれて、そすると、会話も弾みやすく、コミュニケーションも深まり、次にあった時に相談がしやすくなる。また、一緒に笑った住民同士のコミュニケーションも深た住民同士のコミュニケーションも深たは民同士のコミュニケーションも深たは民同士のコミュニケーションも深たは民同士のコミュニケーションも深たは民同士のコミュニケーションも深い。で、笑い』についてもっと深く関わるようになったのでした。

●平成30年度愛媛県園芸大会

「がんばろう愛媛!つなげよう絆のカ!」



愛媛県とJA全農えひめ、愛媛県果樹同志会は、 10月17日、松山市の㈱えひめ飲料で、「がんばろう 愛媛!つなげよう絆の力!」をテーマに、平成30 年度愛媛県園芸大会を開きました。

大会は昭和22年から果樹農業の振興をめざし毎年開催。今回は、生産者、JA・市場等から関係者約450人が出席。園芸功労者表彰、29年度優良卸売会社として名古屋青果㈱の表彰、指定卸売会社への指定証交付などを行いました。

大会宣言では果樹への影響が懸念されるTPP11や農業改革等が進められようとしている中で、将来に明るい展望を持って経営に専念でき、次代の後継者に安心して経営をつなぐため、最大限の自助努力の発揮や、西日本豪雨災害からの復旧に向けた災害復旧事業等の活用を確認。①計画出荷でつかもう愛媛ブランド②園地復興で明るい農業の未来を!!③愛媛フルーツはあなたの健康をサポートします④災害に強い組織体制づくりを!を満場一致で採択しました。

また、2018愛媛みかん大使の4人の紹介、JA 全農えひめから30年産愛媛産柑橘の生産販売状況 と宣伝計画についての報告。愛媛県果樹研究セン ターの三好孝典センター長などによる講演がありま した。

なお、平成30年度園芸功労者表彰受賞者は次の 皆さん(敬称略・カッコ内は推薦地方局・JA名)。



知事表彰を受ける菅さん



愛媛みかん大使の紹介

【愛媛県農産園芸功労知事表彰】

▽菅大吉(東予)▽宮内光樹(中予)▽清水壯一郎 (同)▽高田博行(南予)▽清水公一(同)

【果樹産業振興桐野基金果樹産業功労者表彰】

▽津田康弘 (おちいまばり) ▽川端将敬 (えひめ中央) ▽俊成吉洋 (同) ▽佐川隆 (同) ▽山下茂 (にしうわ)

【果樹産業振興全農愛媛県本部長賞】

▽天満一樹(えひめ中央)▽野本勝幸(同)▽白潟 泰(同)▽竹内寿元(にしうわ)

●平成30年産「紅まどんな選果目合わせ会」

ブランド確立に向け期待を裏切らない商品提供を呼びかける

「紅まどんな」の出荷を前に、JA全農えひめ果実課は、11月8日、砥部町のJAえひめ中央麻生支所で「紅まどんな選果目合わせ会」を開き、ブランド確立に向けて消費者・販売先の期待を裏切らない商品の提供を呼びかけました。

目合わせ会は、品質の向上と品格の統一をめざし、 平成24年から行っており、7回目。JA販売・選 果担当者と愛媛県、市場から41人が出席し、JA 全農えひめの担当者が、出荷要領と選果基準を具体 的に説明し、基準を順守して品格・価格に見合った 商品を提供するよう確認・徹底しました。

「紅まどんな」は面積・生産量とも年々拡大しており、JA全農えひめでは、目合わせ会の開催やモデル園の設定、販売促進活動などを通じて、ブランド化に取り組んでいます。

30年産「愛媛果試第28号」(紅まどんな含む)の 面積は、前年比103%の248ha、生産量は前年比 102%の3,252トンを見込んでいます(10月1日現在・JA関係)。

今年産は生産者のきめ細やかな栽培管理で、果実 肥大、品質内容ともに良好で、順調に仕上がってい ます



JA全農えひめ担当者(左)の説明を受けるJA担当者

●愛媛オリジナル品種「紅まどんな」の出荷スタート! 神野副知事を表敬訪問し「紅まどんな」シーズン到来を報告!

JA全農えひめは、11月16日、「紅まどんな」の販売スタートにあたり、JA全農えひめの小越慎介県本部長とJAえひめ中央の福島龍雄代表理事理事長らが愛媛県の神野一仁副知事を表敬訪問し、生産概況や販売計画について報告しました。

JA全農えひめ果実課は、JA全農が商標登録している愛媛オリジナル品種「紅まどんな」のブランド確立・強化につなげようと、28年産から県内統一の「販売解禁日」(卸売市場販売開始日)を設定しています。解禁日は、品質重視のため作柄及び果実品質内容を考慮して毎年決めることにしており、今年産は11月17日に設定。11月15日以降、県内最大産地のJAえひめ中央をはじめ各産地で出荷が順次始まりました。

神野副知事は、「紅まどんなは高級柑橘として市場や消費者から高い評価をいただいている。全国のたくさんの方に美味しさを知ってもらい、愛媛の

ファン拡大に繋げていってほしい」と話しました。 JA全農えひめは今後、首都圏と関西圏のデパートなど77店舗で、試食宣伝を行い、販促活動に取り組む予定です。



神野副知事(右から2人目)に紅まどんなを贈呈した小越県本部長(中央) と福島理事長(右)ら。

●平成30年度愛媛県総合畜産共進会 第80回家畜改良共進会肉用種種牛の部農林水産大臣賞に女性若手畜産農家!

平成30年度愛媛県総合畜産共進会の第80回家畜改良共進会・肉用種種牛の部が、11月6日、西予市野村町畜産総合振興センターで開催されました。農林水産大臣賞に未経産牛部門2区優等賞首席の高月千賀さん(JAひがしうわ)の出品牛「まどか21」が選ばれました。

農林水産省生産局長賞(経産牛部門優等賞首席) は、角藤幸男(JAひがしうわ)の「さかえ」、中 国四国農政局長賞(雌子牛部門優等賞)は池田一成 さん(JAえひめ南)の「えいこ33」が受賞。

共進会は、家畜改良と畜産の振興を図るため、(公社)愛媛県畜産協会が毎年開催。今回は、雌子牛の部10頭、未経産牛20頭、経産牛7頭が出品されました。

農林水産大臣賞を初受賞した高月さんは、本格的に就農して2年目の26歳。高月さんは「とても驚きました。周りのサポートがあったおかげ。感謝の気持ちでいっぱいです」と受賞を喜びました。同協会によると、県内で、20代の女性若手畜産農家が農林水産大臣賞を受賞することは、極めて珍しいとのことです。

その他の受賞者は次の皆さん(敬称略・カッコ内はJA名)。



農林水産大臣賞を受賞した高月さんと「まどか21」

【雌子牛部門】▽一等賞=野村高校(ひがしうわ)、 角藤幸男(同)

【未経産牛部門1区】▽優等賞首席=兵頭尚人(ひがしうわ)▽優等賞次席=井上明宏(同)▽一等賞=光沖明(同)、池田一成(えひめ南)、角藤幸男(ひがしうわ)

【未経産牛部門2区】▽優等賞次席=髙橋節雄(周桑) ▽一等賞=藤原正勝(同)、池田一成(えひめ南)、 角藤幸男(ひがしうわ)

【経産牛部門】▽優等賞次席=池田一成(えひめ南) ▽一等賞=JA全農えひめ肉用牛センター(全農え ひめ)、山家順子(愛媛たいき)、福山保(同)

● J A 出資型農業法人等設立研修会

新規就農者の受け皿を!~法人設立の手続き等を研修~

JA全農えひめとJA愛媛中央会は9月20日、 JA出資型農業法人等設立研修会を松山市で開きま した。県・市町・JAが参加し、新規就農者の受け 皿としてのJA出資型農業法人等を設立する際に必 要な手続きなどを確認しました。

また、県内の担い手支援の取り組みとして、JA えひめ中央経営支援課新規就農研修センターの宮本 吉博センター長より報告がありました。

同センターは、全国から新規就農希望者を受け入れ、計374 a の研修圃場で栽培技術の取得を行うほか、就農農地の斡旋・整備も行っています。平成31年度には、果樹研修生の営農定着を目指すため、就農後、経営が安定するまでの間、所得補完としてJAの経営農地にて特定作業受託を行うことにしています。

先進地事例報告では、JAしまね担い手対策課の 横宮隆幸課長が、担い手対策支援の取り組みや島根 県の集落営農の推進状況と今後の取り組みについて 発表しました。

担い手対策については、次世代組合員の育成・確保として、事業継承の支援などTAC(担い手に出向く担当者)活動を強化しています。

集落営農支援については、島根県とJAが連携して集落営農の法人化および法人の広域連携をすすめるための経費の支援や機械・施設の整備支援などを行っています。

研修を受けた参加者からは「JAと行政がもっと 連携して取り組む必要がある」といった声がありま した。



JAしまね担い手対策課の横宮課長による事例報告

●平成30年度愛媛県農林水産参観デー

JA全農えひめは米の食味分析を実施

10月1日~2日の2日間、愛媛県農林水産研究所と同果樹研究センターで「がんばろう愛媛!がんばろう愛媛の農林水産業!」をテーマに「平成30年度愛媛県農林水産参観デー」が開催されました。台風の接近に伴い、屋外での催しが一部中止となりましたが、県内各地から多くの来場者が集まりました。

JA全農えひめは今年も愛媛県農林水産研究所で 来場者が持ち寄った米の食味分析を実施。果樹研究 センターでは、協賛展として「くり品評会」の出品 果実と立木部門 入賞ほ場パネル の展示紹介、か んきつ、落葉果 樹の展示を行い ました。



米の食味分析コーナー

●2018年度「愛媛県くり品評会」

農林水産大臣賞に林敏彦さん、三ツ井守恵さん

愛媛県くり研究同志会(大野奉孝会長、会員数1,988人)とJA全農えひめは、9月28日松山市で「2018年度愛媛県くり品評会」果実部門審査会を開き、農林水産大臣賞の林敏彦さん(JAひがしうわ)をはじめ各賞を決めました。立木部門についても農林水産大臣賞の三ツ井守恵さん(JAえひめ中央)をはじめ受賞者を発表しました。

果実部門の出品物と立木部門優秀者のパネルは、 10月1日から県農林水産研究所果樹研究センター で開かれた「愛媛県農林水産参観デー」会場で展示 されました。表彰式は12月に行われます。

今回は、各地区予選で選抜された果実30点、立 木部門15点が出品されました。

愛媛県は、2017年くり生産量が1,840トンで全国第3位の産地。2018年産は、夏季に高温乾燥となった影響により肥大は鈍化し、落毬、日焼け果等が発生し、生産量は前年に比べ大幅に減少しました。



果実部門で農林水産大臣賞を受賞した林さん の出品くり(品種=筑波)

り研究同志会長賞=山村信昭(えひめ中央)、井川 一郎(同)、佐藤三教(ひがしうわ)

【果実部門】▽愛媛県知事賞=長田直一(えひめ中央) ▽全農愛媛県本部長賞=岡崎良一(ひがしうわ)▽ くり研究同志会長賞=川内律男(愛媛たいき)、和 田清光(えひめ中央)、岡田廣實(同)

●愛媛県就農相談フェア

愛媛県単独「就農相談会」を首都圏で初開催!

県中央会や連合会で構成するJAグループ愛媛担い手サポートセンターは、10月13日、東京都内で首都圏在住者向けに、愛媛県単独では初となる就農相談会を開催しました(事務局:JA全農えひめ営農支援課)。

愛媛県への I ターン、 Uターン、 Jターンを考えている方はもちろん、「就農したいけれど、どこで、何を始めたらいいかわからない」という方など、来場者一人一人に各 J A 担当者や県農協青壮年連盟の盟友などが、支援制度の概要を丁寧に説明しました。 J A 西条、 J A おちいまばり、 J A えひめ中央、

JAにしうわなど がブース出店し、 約40件の相談が ありました。

参加者からは「ぜひ愛媛に行って現地を見てみたい」といった声がありました。同協



議会は今後も県外での就農フェアを積極的に開催していく考えです。

● J A 全農えひめと県内報道機関との意見交換会

地元メディアと連携し県産農畜産物のPRへ!

JA全農えひめは10月1日、松山市のJA愛媛で、JA全農およびJA全農えひめの活動や自己改革の取り組みについての理解につなげようと、JA全農えひめと県内報道機関との意見交換会を開きました。県内報道機関とJA全農えひめの代表者ら15人が出席しました。

小越愼介県本部長は「本会の活動を少しでも知ってもらい、報道機関を通じて地域住民にもっと身近に『JA全農』や『JA』を感じてもらいたい」と話しました。

報道機関からは、JA全農の広報活動の方向性や、

農業ICTなどの デジタルイン いった新たつい り組みについが の質問などがあ りました。



今後もJA全農えひめは、県内報道機関と連携をとりながら、JA全農の認知度向上や理解促進、地元農畜産物のPRを目的に、対外広報に力を入れていく考えです。

長澤会長ら県内の7月豪雨被災地を訪問

がんばろう愛媛。

10月2日、JA全農の長澤豊経営管理委員会会長、大澤憲一経営管理委員会副会長は、愛媛県内の平成30年7月豪雨の被災地を訪問しました。

長澤会長と菅野幸雄経営管理委員会副会長(JA全農えひめ運営委員会会長)は、果樹園地への被害が大きかったJAえひめ南、大澤副会長は、農業関係施設の浸水による被害などが大きかったJA愛媛たいきを訪問し、被害状況や復旧対策を確認しました。

また、長澤会長らは、JA愛媛中央会などJAグループ愛媛を訪問し、JA愛媛中央会の田坂實会長

にお見舞いを渡しました。

長澤会長は「被災された農家が一日も早く営農を

再開していただけるよう、JAグループの総旧を挙げて復興に全力で復興にを力い」と話しました。



園地の視察をする長澤会長(左から2番目)、 菅野副会長(左)、被害状況の説明をするJA えひめ南 黒田義人組合長(右)、玉津果樹同 志会の宮本和也会長(右から2番目)

●麦の収量アップ研修会

実需者の要望に応えられる収量確保に向け対策徹底を!

JA愛媛食糧指導員会は、9月25日農林水産研究所で「平均単収360kgを確保する」をテーマに「麦の収量アップ研修会」を開催しました。

研修会には、生産者・JA・県関係者等66名が出席しました。研修会では、31年産はだか麦の購入希望数量6,454 t に対し、生産者の予定数量は4,232 t と2,222 t 不足している現状の中、単収を上げることで実需者の要望に応えていくこととし、各関係機関から収量アップに向けた技術の説明がありました。

30年産麦におけるアンケート調査では、本暗渠や弾丸暗渠を行った所や、黄枯れが発生していない所の収量が高かったとの報告がありました。また、農林水産研究所から単収360kgを取る技術としては①播種前~後の排水対策、②土壌pHの改善、③11

月中下旬の播種、④黄枯れを出さない追肥、⑤麦踏み・土入れ、⑥雑草対策の項目を徹底することが必要との説明がありました。

また、新品種「ハルヒメボシ」の特性について「マンネンボシ」と違い早生品種であり、初期生育が旺盛になりすぎるため、生育後期重点となるような肥培管理が重要との説明がありました。さらに、30年産で「ハルヒメボシ」に品種転換したJA周桑からは過繁茂にさせないよう播種量を8kg程度に抑え、排水対策を徹底してもらうとともに、12月頃から中間追肥を実施してもらった等の事例紹介がありました。

今後も麦の収量アップを目指し継続的に研修を行い、生産者・JA・関係機関が連携して取り組んでいくことを確認しました。

●ファミリーマート・全農ふれっしゅ広場

食欲の秋!「秋の味覚祭」を開催

JA全農えひめが東温市で運営する農産物直売所とコンビニの一体型店舗「ファミリーマート・全農ふれっしゅ広場」は、10月26日~10月28日の3日間、「秋の味覚祭」を開催しました。

期間中は、出荷者団体フレッシュ市部会による「ふかし芋販売会」、「芋たきお接待」、「全農のお肉屋さん」による県内産ブランド肉の試食販売など日替わりで多彩なイベントやお買い得企画を実施し、大勢の買い物客で賑わいました。

「ファミリーマート・全農ふれっしゅ広場」では、 各種イベントを定期的に実施し、地域とのふれあい や消費者との交流を深めるとともに、利便性の向上 に努めています。直売コーナーの商品にもTポイン トがつくことや日替わりサービス企画などのお得も いっぱいです。ぜひ皆さんもご来店ください。



フレッシュ市部会による「芋たきお接待」は開始と同時に長蛇の列ができ 大賑わい

●オートパル松山新築店舗開店

お客様のもっと近くに!リニューアルオープン

JAえひめエネルギー(㈱オートパル松山(砥部町拾町)は、11月17日、18日の両日、店舗新築によるリニューアルオープンイベントを開催しました。イベントでは、特別価格として中古車販売をしたほか、ドクターフィッシュやらくがきカーなど家族で楽しめる催しで大勢の来場者で賑わいました。

築後50年を超える旧店舗は、販売拠点というよりも、整備拠点としての認知度が高く、よりお客様に寄り添った来店しやすい店舗を目指し、今回の店舗新築に至りました。「展示コーナー」は相談スペー

スを広くとり、開放感と清潔感のあるデザインにしました。旧店舗では少なかった家族連れの来店増加をめざし、キッズスペースなども設けました。

オープンを前に11月9日、オートパル松山で竣工式、松山市のJA愛媛で落成記念式典が行われ、関係者約60人が参加。峯本耕典代表取締役社長は「地域のみなさまのくらしをサポートし、幅広い世代の方から愛される店舗を目指したい」とあいさつしました。



リニューアルオープンイベントで関係者によるテープカット



新築したオートパル松山

●㈱ひめライス協賛「第42回テレビ愛媛杯愛媛県ママさんバレーボール大会」 「久枝フラワーズ」優勝!ひめライスはママさんバレーを応援!

(株)ひめライス協賛「第42回テレビ愛媛杯愛媛県ママさんバレーボール大会」が、9月29日、愛媛県総合運動公園体育館で開かれ、久枝フラワーズ(松山市)が見事優勝を果たしました。

大会には県内38チームの中から東・中・南予の 各地区予選を勝ち抜いた16チームが参加。

㈱ひめライスは、スポーツ振興を通した健康で明るい家庭づくりに貢献しようと、同大会に毎年協賛しています。今回も3位以内の上位4チームのメンバー全員に新米無洗米『あらうまい愛媛県産コシヒカリ』と㈱えひめ飲料提供のポンジュースセットを、参加者全員にお米とひめライスグッズをプレゼントしました。

会場では、元全米代表のヨーコ・ゼッターランド

その他の入 賞チームは次 の通り。 ス度フラワース (1887で) (188

佐伯さん(後列右)と優勝を喜ぶ久枝フラワ-ズのメンバー

【準優勝】小野クラブ【3位】今治ときわ、一本松VC

●ひめライス新米キャンペーン抽選会 **当選者825人決定!**

(㈱ひめライスは、11月12日、松前町の本社で、「ひめライス新米キャンペーン」抽選会を行い、松田一人社長らが、1万8,421通の応募の中から、当選者 825人を選びました。

同社は今年で55周年を迎えます。キャンペーン名称は「GO! GO!新米キャンペーン」。お米のロックバンド「米ベーズ」が、新米の登場とその喜びをアップテンポな歌で表現し、感謝の気持ちを伝えました。76店舗に新米コーナーを設置し、キャンペーンをアピールしました。



松田社長(中央)はじめ社員が抽選

●えひめスイーツコンテスト2018

愛媛の魅力が詰まったスイーツが勢ぞろい

愛媛県産農産物を使ったスイーツを公募・審査する「えひめスイーツコンテスト2018」(主催:えひめ愛フード推進機構・愛媛新聞グループ、共催:JA全農えひめ)の最終審査と結果発表、表彰式が、10月5日、松山市で開かれました。

10回目の今回は、プロ部門、学生部門に加え、プロ・アマ問わず応募できるシュークリーム部門を設置。プロ部門41作品、学生の部144作品、シュークリーム部門61作品の計246作品の応募がありました。最終審査では書類審査を通過した38点を県内の有名シェフ・パティシエなど審査員が試食・審査し、各賞が決まりました。

入賞作品は、えひめ愛フード推進機構ホームペー

ジ内「スイーツプ ロジェクト」の中 で紹介されていま す。



プロ部門洋生菓子の部グランプリレモン・びわなどを使用した「アネモネ」

知って得する

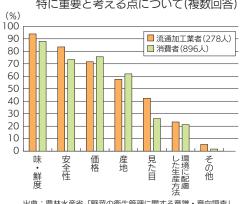
- 野菜の衛生管理に関する意識・意向調査結果から

一通し図

をに流入

あ

野菜・果実を取引または購入する際に、 特に重要と考える点について(複数回答)



出典:農林水産省「野菜の衛生管理に関する意識・意向調査」

野菜・ でご紹介しましょう。 一視するのは 果実の 取引や で

す

wげています 「味・鮮度」 したりする 図 1 は野 する際、重視する点です野菜・果実を取引したり 工業者 、ます。 消費者ともトップ3 モ 安全 重視する点です。実を取引したり購 タ 旌 1 0) な 価 か で 格

左後用の野菜・果実を取り扱ってい生食用の野菜・果実を取り扱っています。

各種情報をご案内しています。「東省のHPに「GAP-info」を開設しできるよう取組を進めており、農水のおり、農水ののできるよう取組を進めており、農水ののできるような組を進めており、農水ののでは、

がのを「設農供準 で農取東し水給の

A ラ農

物ク東

グリン化水省

で ピは、

京20

2 0 五.

省のHPに「GAP-info」を開設 を物生産をめざされてはいかが 産物生産をめざされてはいかが 産物生産をめざされてはいかが を関い、さらなる高み、世界水準の を機にGAP認証を を関いています。「

Agricultural

します。これは

年

G

A

P

ギ

ヤ

ツ

Good

٤ 一農と

3割超の流通加工業者、 (者がGAP認証表) 示等を

GAP等についてもお聞きしていまり言葉を耳にします。これは「農業生産工程管理」とよばれ、農作物を全等を確保する取組をいいます。 今年9月に公表した「野菜の衛生管理に関する意識・意向調査」では、 管理に関する意識・意向調査」では、 農林水産情報交流ネットワーク事業 の流通加工業者モニター(496人)に、 及び消費者モニター(896人)に、 及び消費者モニター(896人)に、

図2はその流通加工業者が 1 (29・6%)、年産、流通、 29・6%)、生産者の写真等の表 29・6%)、生産者の写真等の表 なっています。 なっと、 、 なっと、 なっ 6等確J理衛が者 %に認G記生」が と基すA録管栽行

までの野菜の衛生管理指針」を公表して

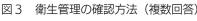
|視されてきているとい するとし えます %表外 が示見 証消

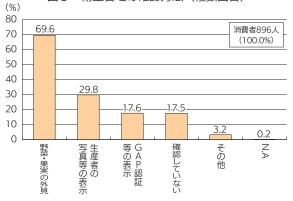
図2 生産者による衛生管理の 取組の確認方法 , 流通加工業者 88人 (100.0%) 13.6%

21.6%

■「栽培から出荷までの野菜の衛生管理指針」記録の申告 ■ JGAP、GLOBALG.A.P.等の認証取得の確認 ■ その他のGAP等の認証取得の確認 □ その他

出典:農林水産省「野菜の衛生管理に関する意識・意向調査」





出典:農林水産省「野菜の衛生管理に関する意識・意向調査」

2割弱 確 認 σ

注

:農水省は平成23年に、

管出血性大腸菌など、

生鮮野菜等に起因 ノロウイルスや腸

する食中毒リスクを避けるため、

理の注意点をまとめた

「栽培から出荷

生産・

中国四国農政局愛媛支局交流ネットワーク」) 理指針」「平成29年度農 「栽培から出(★検索ワー) います。 「平成29年度農林水産情報ら出荷までの野菜の衛生管ソード=「GAP-info」「GAP」

| R | E | A | D | E | R | S | 通 | 信 |

- 「農の風景」を読んで。肌寒くなってきた今日この頃、芋炊きが恋しくなります。芋炊きに欠かせないのが「さといも」ですが、愛媛県が全国の生産量第4位と知り驚きました。甘く粘り気のある「伊予美人」を芋炊きにして、秋の夜長を楽しむのも良いかもしれません。 (今治市・窪田 貴大さん)
- えひめ飲料の「みきゃんジュース」、 デザインがとても可愛いですね!空き 缶捨てるのが勿体ない…。良いリサイ クル方法がないか考え中です。

(今治市・阿部 紗弓さん)

トピックニュースの所々で登場していたえひめ飲料の「POM塩と夏みかん」。今年は猛暑、熱中症対策として「塩分補給」と書かれている飲み物を色々と試し飲みしました。なんといっても、私がハマったのがこの「POM塩と夏みかん」!甘すぎず、夏みかんの味も、塩の味も確かに感じる絶妙のバランス。今年の夏は「POM塩と夏みかん」

のおかげで乗り切ることができました。あっさり味でハマるとクセになる味です。 (松山市・石丸 房恵さん)

初めて「あぐり〜ど」が送付され嬉しく読ませていただきました。女性果樹同志会で、いろいろ知識を吸収させてもらっています。めずらしい活動をされている方などを紹介してほしいです。

「エッセー」を読んで。泉谷さんの 考えに同感です。新しい発想による商 品がどんどん生まれれば、生産者だけ ではなく消費者にも喜ばれると思いま す。 (八幡浜市・三好 志江子さん)



お知らせ

読者名簿更新について

JA全農えひめ情報誌「あぐり~ど」は、愛媛県内JAの役員(非常勤理事・監事含む)・職員、生産組織や女性組織のリーダー、県行政や関係機関、県内報道機関を対象に無料配付しています。

現在、読者名簿の更新を随時行っています。この度の名簿更新により、新たにお届けする方とお届けできなくなる方がいらっしゃいます。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

編集後記

カレンダーをめくれば今年も 残すところあと1か月。「平成」 最後の12月、本誌は1000号を 迎えました。改めて1000号っ てすごいですよね!今回の特 を作るにあたり、ごそごそと 去の広報誌を読み漁りました。 去の広報誌を読み漁りました。 感動、様々な発見がありました。 ごのような大きな節目に編集担 当として携われたことに感謝の 気持ちでいっぱいです。

これからも読者の皆さまに愛 される「あぐり~ど」を目指し て、歩みを進めていきます。

(有紗)

今月の クイズ

JA全農えひめが、大切な人と柑橘を贈り合い「愛を深める日」として登録している、4月14日の記念日の名称は?

「〇〇〇〇デー」

プレゼント

クイズに正解した方の中から 抽選で、図書カード1,000円 分を10名様にさしあげます。



応募方法

折り込みハガキにクイズの答えと本誌に対する ご意見・感想などをお書き添えの上、ご郵送く ださい。

締切り

平成31年1月15日(当日消印有効)

発 表

「あぐり~ど」2-3月号で発表します。

当選者発表

10-11月号の答えは「GO(!)GO(! 新米キャンペーン)」でした。たくさんのお便りありがとうございました。 厳正な抽選の結果、次の10人の方に 図書カード1,000円分をお送りします。 寺尾 智美さん(四国中央市)

仙波美和子さん(四国中央市)

玉井 陽子さん (西条市)

近藤 千恵さん (西条市)

松本 恵子さん(松山市)

来嶋 大治さん(松山市)

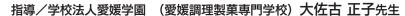
竹村 洋子さん(松山市) 泉 牧子さん(松山市)

泉 牧子さん(松山市) 矢野 直美さん(大洲市)

藤川 雅孝さん (八幡浜市)

NOW NOW

左前 白菜でエビシュウマイ風 包 白菜と里芋の豆乳味噌汁



OOKING 今月の素材



葉と芯は厚みが違うので て使うと調理しやすい

白菜と豚バラ肉の塩あんかけ

〈材料・4人分〉 ※1人あたり約385kcal

白菜 1/8玉 豚バラ肉 (薄切り) $200\,\mathrm{g}$ 木綿豆腐 1丁(約400g) 1/4本(約40g) 人参 ニンニク (スライス) 1かけ サラダ油 適量 水 300cc 鶏ガラスープの素 小さじ2 塩・コショウ 滴量 水溶き片栗粉 大さじ3~ ラー油 少々

〈作り方〉

白菜と豚バラ肉の塩あんかけ

- 豚バラ肉は5cmに切る。
- 白菜は2cm幅に、人参は短冊切りに、木綿豆 腐は水気を切って拍子切りにする。
- フライパンにサラダ油を入れ、ニンニクを弱 火で炒め、豚肉を炒める。
- ④ ③に水と鶏ガラスープの素を加え、②を入れ て、火を通す。
- ⑤ 塩・コショウで味を調え、水溶き片栗粉でと ろみをつける。
- ⑥ 器に盛りつけ、好みでラー油をかける。

白菜でエビシュウマ

〈材料・4人分〉 ※1人あたり約147kcal

日来	8 枚
むきエビ	200 g
鶏ミンチ肉	100 g
白ネギ	1/2本
F 塩	小さじ1/2
砂糖	小さじ2
(A) 濃口しょうゆ	小さじ1/2
コショウ	少々
片栗粉	小さじ 2
∟ ゴマ油	小さじ1
[タレ]	
酢	大さじ3
濃口しょうゆ	大さじ 2
水溶き辛子	適量

〈作り方〉

- ① 白菜はラップで包み、電子レンジ (600W約 3分)。芯は粗みじん切り、葉は半分に切り、 水気をよく絞る。
- むきエビは包丁でたたく。白ネギはみじん切 りにする。
- ボウルにむきエビと鶏ミンチ肉を入れてよく 混ぜ、白ネギと白菜の芯、Aを加えて混ぜる。
- ③を16等分に丸め、白菜の葉で包み、皿に のせてラップをかけ、火が通るまで電子レン ジ(目安は600W約3分)にかける。
- タレは酢としょうゆを混ぜ合わせて、水溶き 辛子を添える。

白菜と里芋の豆乳味噌溶

〈材料・4人分〉 ※1人あたり約160kcal 白菜 4枚 椎茸 4枚 白ネギ 1本 2個(約100g) 里芋 ベーコン(厚切り) 2枚 生姜(千切り) 1かけ サラダ油 適量 水 400cc だしの素 小さじ2 豆乳 400cc 麦味噌 大さじ2~

〈作り方〉

- ① 白菜は1cm幅に切り、椎茸は半分に切り、白 ネギは斜め薄切りにする。
- ② 里芋は一口大のイチョウ切り、ベーコンは7 mm幅に切る。
- ③ 鍋にサラダ油を入れ、②を炒め、Aを入れて、 沸いたらアクを取り、生姜を加える。
- ④ 弱火で炊き、里芋に火が通れば、①と豆乳を 加えて弱火のまま火を通す。
- ⑤ 味噌を溶き入れて味を調える。



燃えひめ飲料

TEL: 089-923-1500 FAX: 089-924-0304

(通販専用)http://www.pom-j.com





【応募方法】店頭リーフレット(一部スーパーに設置)裏面の応募ハガキまたは郵便ハガキに

(1) クイズの答え (2) 郵便番号・住所 (3) 電話番号 (4) 氏名 (5) 性別 (6) 年齢 (7) ご希望の商品コース (A·B·C から 1 コース) をご記入の上、 応募ハガキには62円切手を貼付して下記までご応募ください。

【応 募 先】 〒791 - 8031 愛媛県松山市北斎院町 637 - 6 (セーラー広告内) 「ふれ愛・媛ポーク」 ありがとうキャンペーン係

【応募期間】平成30年11月1日(木)~平成30年12月21日(金) 【応募締切】平成30年12月25日(火)必着 【抽選予定日】平成31年1月下旬 【当選発表】厳正なる抽選の上、当選者の方々には係員よりご連絡いたします。

JA全農えひめ は新れるかせ

〒799-3111 愛媛県伊予市下吾川字北野511-1 Tel. 089-983-2113 Fax. 089-983-4757 http://www.eh.zennoh.or.jp

